

西濃に広がる あったかい 言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係
令和5年10月13日 / No.1

今年も「あったかい言葉かけ県民運動」へのたくさんの応募を頂きました。これから寒くなりますが、心だけはあったかい言葉を感じて過ごしていきたいですね。

「ぼくがいるからだいじょうぶ」

はじめてしょうがっこうへいくとき、とてもどきどきしました。ぼくのおにいちゃんが、「ぼくがいるからだいじょうぶ」といってくれて、とってもあんしんしました。

「がんばれ！」「あとちょっと！」 「もっと上を見て！」「こうするといいよ！」

水泳の学習で、私が泳いでいるときに「がんばれ！」「あとちょっと！」おうえんしてくれたので、とても勇気ができました。また、「もっと上を見て！」「こうするといいよ！」などアドバイスをしてくれたり、教えてくれたりしてとても私のことを思って親切にしてくれているのが分かりました。すごくうれしかったです。私も二人のように親切な人になりたいです。

「だいじょうぶですか」

るすかていからかえるとちゅう、妹がころんでしまいました。そしたら、近くにいた4年生の人が「だいじょうぶですか。」とこえをかけてくれました。じぶんはころんでないけど、なんだかうれしかったです。

「どうぞ。」と「ありがとう。」

ぼくは、プリントが配られた時、「どうぞ。」と言ってわたしています。今日、ひびきさんに「どうぞ。」とプリントをわたすと「ありがとう。」と言ってくれました。ぼくはうれしくなって、また「どうぞ。」と言いたいと思いました。そして、友だちをうれしくできる「ありがとう」の言葉をぼくもまねしたいと思いました。

「一緒に強くなろう」

ぼくがバスケの試合で負けて泣いている時、友だちが「一緒に強くなろう」と声をかけてくれました。その日から毎日練習して試合でも勝てるようになりました。ぼくを強くしてくれたのはその友だちです。今度はぼくが友だちを支えてあげたいです。

「ネバーギブアップ」

自分はずぐにあきらめたり「無理」と言ってしまう。そんなとき母が「ネバーギブアップ！」という本を借りてきて、それ以来家の中でネバーギブアップという言葉を使うようになり、それから母が「ネバーギブアップ」と何回も言うようになりました。これからネバーギブアップで、いろんなことにチャレンジしたいです。

「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から応募いただいた作品より紹介させていただきます。